

MANSION LIFE Q&A

Question

都心での大雪に備えた注意点を教えてください。

Answer

大雪の対策として、個人で注意すべきことと管理組合としての役割を確認しましょう。

入居者個人が心がけること

やむを得ず出かける場合の注意

降雪・積雪のときは、不要不急の外出を避けることがいちばんですが、やむを得ず出かけなければならない場合は、いつもより時間に余裕をもち、長靴やすべり止めのついた靴を履き、手袋をします。そして、両手が見えるように、かばんは手提げよりもリュックのほうがいいでしょう。新雪の上を歩くことは避け、人や車の通った跡を歩くようにします。

また、テレビやラジオ、Webサイトを通じて、気象庁による注意・警戒情報、鉄道各社の交通情報等、最新の情報をチェックしましょう。



非常時のための備蓄品について

大雪や凍結による設備の破損などでライフラインが断たれることがありますので、水・非常食のほかに、ガスボンベなどの燃料、ランタンなどの明かり、携帯カイロなどの防寒具を用意しておきましょう。また、持病などで薬が必要な人は、予め分量を多めに処方してもらい、交通網の麻痺による物資不足を想定して最低3日分、日常生活でなくなると困るものを備蓄しておくことをおすすめします。

おすすめグッズ

品番X0818

■ アイススパイク

雪道のスリップ防止に靴の上から装着。携帯にも便利です。

●ドライワールド

☎072-289-5916

価格：598～650円（税抜）



品番X0801

■ サウンドタッチエキストラーム ハイパーライトグローブ

悪天候の中でも指先を濡らさずに
細かな作業ができます。

●セイラス

☎03-3805-2651（株式会社スター商事）

価格：6,696円（税抜）



管理組合としての役割

必要な道具を揃えておく

雪かきスコップやスノーダンプ、融雪剤、カラーコーン、スリッパ注意の立て看板などマンションに必要なと思われるものをリストアップして揃えておきましょう。融雪剤は駐車場パレットなどの鉄部に撒くと錆が発生するので「錆びないタイプ」をセレクトしましょう。また、住民のみなさんが誰でもスムーズに取り出せるように、保管場所を全体に周知しておきましょう。盗難の可能性もありますので、マンション名を目立つように明記しておくことも必要です。

役割を決めておく

降雪・積雪時の役割を予め住民同士で決めておき、普段から除雪用具の在庫も確認しておきましょう。理事会役員だけが役割を持つのではなく、誰もが協力しあえる体制を作っておくことも重要です。管理組合のみなさんと話し合い大雪に備えた対策をしっかり準備しておきましょう。降雪時の注意事項や、除雪の協力願い等を記した印刷物を管理員室で保管し、雪予報の前日や当日にマンションの掲示板に張り、協力を仰ぐことも重要です。



除雪は雪が凍る前の初期対応が重要

雪が降ったあとの除雪作業は雪が氷になる前の初期対応が重要です。雪が止んだらお住まいのみなさんと協力しあって建物前や周囲など通路部分ではできるだけ早めに除雪しましょう。また、落雪の危険がある場所にはカラーコーンなどで規制をするなど、注意を促し、二次災害を防ぎましょう。融雪剤は雪が降る前に撒いておくと効果的です。

参考記事：冬期に注意いただきたいこと（消費者庁）

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/caution/caution_008/

災害時の防災・備蓄対策ノート

https://www.saigai-bichiku.com/prevention/heavy_snow/

イダケンが吠える!

<https://plaza.rakuten.co.jp/idaken2007ms/diary/201801230000/>